

事業所名

にじいろキッズらいふ(居宅訪問型児童発達支援)

支援プログラム

作成日

7年

3月

27日

法人(事業所)理念		利用者の人としての尊厳を大切に、地域社会でゆとりと潤いのある、その人らしく、いきいきと自立した日常生活が送れるよう、利用者様本位のニーズに合った福祉サービスの提供に努める。					
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携を図りながら早期発見・早期支援に努めます。 ・将来に自分の強みを活かし自分らしい生活が送れるよう支援します。 ・インクルーシブな社会を目指し保育所等への移行支援を行います。 			<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAサイクルを大切にオーダーメイドの個別支援計画を作成し発達支援を行います。 ・複数の事業を展開する法人の強みを活かし連携しながら個々の特性に合わせた支援を行います。 ・子育て支援のために保護者向けの事業を展開し家族支援を行います。 		
営業時間		9時	0分	17時	0分	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	心身のより良い発達を促せるよう、健康で安全な生活環境を支援します。食事、排泄、衣類の着脱等身の回りの事を知る事、また自分で出来る事を見つけながら、過ごしやすい環境下でコンディションを整え心身の成長を促します。医療的ケアが必要なお子様には、適切なケアができるように環境を整え、関係機関と連携のもとケアを行います。					
	運動・感覚	専門職と連携をしながら、全身の発達から細やかな手先の育ちまでの発達が促進されるよう、運動や遊び、制作等の活動を企画し、お子様が楽しみながら活動に参加できるようにします。お子様に合わせた補助具等の使用や、感覚特性に配慮をしたり、お子様の発達段階や強みを大切にしながら、『出来た』を積み重ねるようにします。					
	認知・行動	様々な活動や豊かな体験を提供することにより、感覚への働きかけ、概念的な理解の形成をし、認知の発達を促していきます。また、ルーティン化された日課により、次を見通して自分から行動する力を育てていきます。わかるが増える中で、わからない・苦手・イヤの気持ちを受け止め、それを上手に周囲へ伝えることで、自分の気持ちをコントロールすることを覚えていけるよう支援します。					
	言語コミュニケーション	お子様の興味関心に寄り添いながら言葉を添える中で言葉の理解を広げ、気持ちの共有化を行うことで対人関係の基礎を築きます。日々のやりとりにおいては、仕草、ジェスチャー、言葉、写真等のカード(視覚的な支援)、ジェスチャー、各種の機器を用いるなどして、お子様がわかりやすい方法で示し、かつお子様から伝えやすい方法をの獲得を目指します。					
	人間関係社会性	思いを受け止めてもらえるという安心の環境設定の中で、様々なスキンシップや遊びの経験を身近な大人とすることで、他者と一緒が楽しいという気持ちを育みながら、遊びを広げるとともに、他者理解や自己理解を育みます。また、遊びや活動では、大人やお友達の思い、集団のルールを知り、うまくいかない事、思い通りにならないことも経験しつつ、気持ちを切り替えて行く力を育てます。					
家族支援		子どもの人生の基盤となる時期における子育てについて、ご家族との対話を大切にしながら、トータルに支援します。			移行支援		児童発達との交流の機会を設けたり、幼稚園保育園、小学校への繋ぎの支援も行います。また、居宅から児童発達への以降も視野に入れて支援します。
地域支援・地域連携		お子様が関係する機関(行政、保健センター、医療機関等)と連携を図りながら、支援が途切れることがないようにしていきます。			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・感覚統合理論、ABA応用行動分析、構造化、特性理解等の専門研修を行います。 ・虐待防止、身体拘束等適正化、感染症対策、BCP等の研修を行います。
主な行事等		個別面談、プール、季節行事、食育等					